

第1章 基本理念と視点

- 1. 基本理念
- 2. 視点
- 3. 行動指針



第1章 基本理念と視点

1. 基本理念

ふくしま水道事業ビジョン2026は、長期人口減少において社会、情報を眺め、整え、考え方適応しながら、現状維持ではなく、先の見えづらい未来を切り拓くために変革へ挑戦する施策の方向性を示す「福島市水道事業の指針」です。

本市水道100年の歴史の中で水道の給水対象としてきた「地域」とその需要者との間において築き上げてきた「信頼」の概念を重要視し、『地域とともに、信頼を未来につなぐ』ための道標であるとも捉えております。

本市は県都としての役割を果たすとともに、新たな事業環境に順応し適応すべく、職員が挑戦する意識・姿勢をもって取組を推進していきます。さらには、職員の技術やノウハウ等を次世代へしっかりと継承し、福島市上下水道局職員としての誇りをもって、命の元である水を守り続けていくため、新たな基本理念を定めます。

～ 基本理念【New】～



未来を拓き、変革に挑む水道
～信頼される水道であり続けるために～

2. 視点

国の新水道ビジョンで示されている「安全」「強靭」「持続」の3点を各施策の根幹として捉えますが、基本理念に唱えた「変革」を特色として活かすため、「持続」に代えて新たな視点として「進化」を掲げることとします。

将来にわたって持続可能な水道を目指すためには、先が見えづらい時代に適応・順応するために、現状維持ではなく、進化しながら事業運営することが必要であると捉えています。

～ 視点【New】～

安全

いつでも、安心して、水質基準に適合した安全な水が飲めること

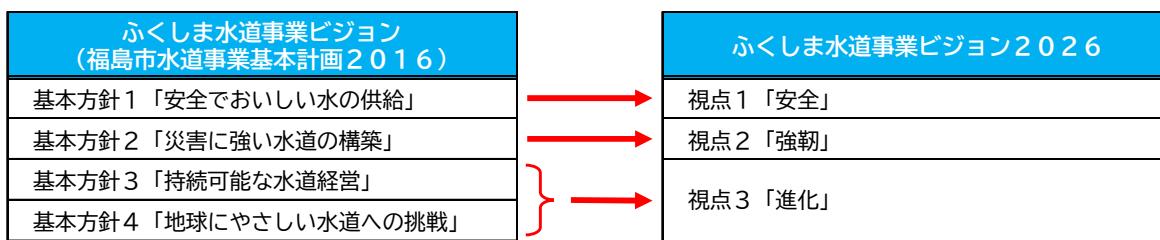
強靭

災害による被害を最小限にとどめ、かつ迅速に復旧できること

進化

社会経済情勢を的確に捉え、生産性向上や収入確保等により常に効率的な事業運営とすること

【従前ビジョンの関係性】



3. 行動指針

私たち職員は、基本理念の実現に向けて、「挑戦」「連携」を共通の行動指針とし取り組みます。

～ 行動指針【New】～



『挑戦』

これまで培った経験や知識を最大化し、
果敢に取り組み(挑み)ます！

長期人口減少社会といった新たな事業環境に順応し適応するため、先の読めない状況で何をすべきか悩むよりも、成功体験だけではなくこれまで経験してきた失敗も含めた様々な事例等を教訓しながら、前向きな対応で調査研究を怠らずに挑戦します。その結果、仮に失敗という多少の代償を払ってでも、その失敗から学び立ち直ることで「成長や改善するチャンス」という意識・姿勢をもって施策を推進します。



『連携』

新たな発想(広い視野)で
多様な主体とのつながりを目指します！

本市は、中核都市として県北圏域全体の持続可能な水道事業運営を鑑み、福島地方水道用水供給企業団や近隣の水道事業体、関係行政機関、民間事業者等立場を越えて連携します。挑戦の意識・姿勢を持った各々の主体が、自ら果たすべき使命、置かれた状況を十分に認識したうえで連携し、相乗効果の発現、効率性の向上、さらには新たな発想による施策を展開します。